

人事労務通信



社会保険労務士事務所
人事労務センター

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前 4-33-11-702
☎ 092-982-4188 Fax092-982-6170

Eメール akiko@b-souken.com

門司港レトロ

トロッコ列車で和布刈り神社



めっきり秋らしくいい天気
に、出かけました。

トロッコ列車で布刈神社
にお参りをしました。

ピンクリボン月間

10月は「ピンクリボン月間」＝乳がんの早期発見・早期治療を呼びかける啓発月間。乳がんの早期発見と早期治療の大切さを知ってもらうため、世界中で啓発活動が行われています。

乳がんは女性がかかるがんの中で最も多い病気ですが、早期に見つければ高い確率で治るとされています。

忙しい日々の中でも、定期的な検診やセルフチェックを心がけることが大事です。

企業や職場でも、健康診断の機会を活用し、検診の受診を促すことが健康経営の一步となるのではないのでしょうか。

また、「この機会に、職場や家庭でも、健康について話し合い、自分と周囲の健康を守る行動を考える機会にしてみるのもいいのではないのでしょうか。

自民・維新の連立の高市政権 企業団体献金禁止は、 政治の信頼を左右する

自公が過半数割れし参議院選挙以来、2カ月間、公明党が自公連立政権からの離脱や政権の枠組みなどについて、あーでもない、こうでもないとなすったもんだした挙句に、高市政権がスタートすることになりました。

元毎日新聞編集委員の尾中 香尚里さんは、「参院選の自民党惨敗から3か月以上の政治空白の末に、高市早苗政権が21日、ようやく発足した。」として、この自民党と維新の会の連立合意を「高市自民に釣られた維新」と言い切っておられます。

参議院選挙は、“金権腐敗の自民党政治”に対する国民の厳しい審判であったと思います。

政治とお金の問題は、国民の信頼を取り戻すうえで避けて通れない課題です。

しかし、自民党と日本維新の会の連立合意は、企業・団体献金の禁止を議員定数削減へとすり替えるものです。

議員定数を減らすことは、地方や少数意見を切り捨てるものです。

10%の議員定数を削減して議員歳費を削るより、年間315億円超（赤ちゃんから高齢者まで一人250円を強制支出）の政党助成金を廃止する方が、ずっと有効だと思います。

「東京新聞」社説で「国会議員の『身を切る』改革が必要なら、共産党を除く各党が年計約15億円を受け取っている政党助成金の廃止・減額や、議員特権を見直す方が効果的ではないか」と提起しています。

企業や団体の献金をどう扱うかは、政治への信頼を左右するものです。政治の信頼は、私たちの関心から始まります。



人事労務センター

社会保険労務士 大隈昭子

TEL 092-982-4188

FAX 092-982-6170

Eメール: akiko@b-souken.com